

						一										
						(四)	(三)	(二)	(一)							
						①	㊦	誤解	①	姿勢	㊧	濃紺	㊨	放置	㊩	開放
							㊰		㊱		㊲		㊳		㊴	
						(解答例) 他人の目で物を見る」経験で、その人の力によって目の前の作品が変形していく驚き、そのライブ感に勝るものはないこと。(90字)										
						(解答例) 学生たちに自分の言葉でしゃべりだしてもらうことが大切であり、学生たちから出された様々な解釈を通して、物理的には同じでありながら、人によって全く違ったふうに見ていることに驚いてもらうため。(93字)										
						(解答例) 受験勉強の延長ように、「この作品の正解は……」と構えてしまう学生の肩の力を抜き、能動的に解釈させること。(52字)										
						(解答例) 歴史家は「役に立とうとするほうがよいに決まっているが、そうしなければならないとまではいいえない」というやや中途半端な立場を示している。これは、社会の役に立つこと以外の「やりがい」にもとづいて行動する人もいるため、そうした人々に「社会の役に立つこと」を押しつけるべきではないと考えているためである。(147字)										
						(解答例) 科学者が論文という「楽譜」をそのまま提示するのではなく、「演奏家」のように自ら「表現」することである。それは、専門家が言葉を大切に人間として語り、広く一般の人々の誰にも話が通じるようにすることである。(100字)										
						(解答例) どちらも学問が社会に「役に立つ」あり方について問題提起している。「役立つ」とは、歴史学では、真実性を經由したうえで、個人の日常生活に役立つ知識を提供することであり、科学では、科学を文化として捉え、科学者が人間として語り、一般の人々が関心を持てるように内容を伝えていくことである。つまり、学問は、本来持つ本質的な価値を通じて、社会に貢献すべきだと主張する。(177字)										
						【採点基準】										
						(1)共通する主張（問題提起と結論）を要約できているか。										
						(2)両者それぞれの結論について、具体例を抽出できているか。										